

2020年7月4日球磨川豪雨災害

電源開発の

ウソ

ホント

市民の見た

瀬戸石ダム編

2020年球磨川豪雨災害と瀬戸石ダムとの関係について、電源開発株式会社（j-power、以下電源開発）の説明のウソを解説します。

ウソ

瀬戸石ダムによる
水位上昇はなかった。



2020年7月4日球磨川豪雨時の瀬戸石ダム

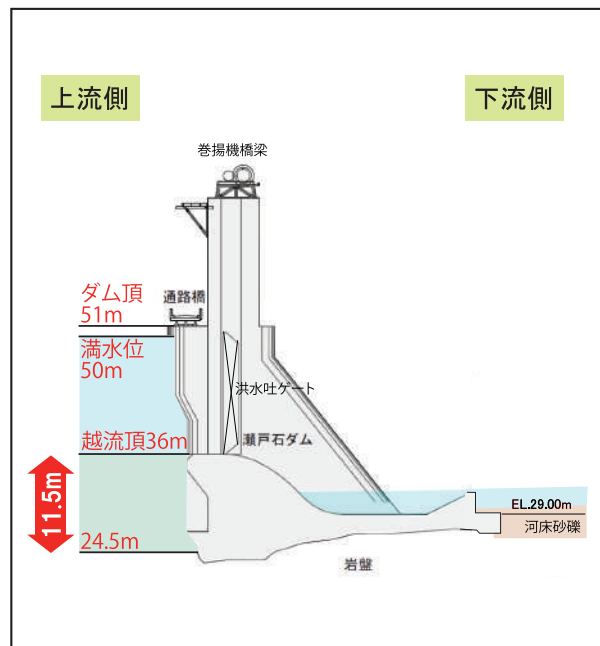
ホント

瀬戸石ダムによって、約7mも水位が上昇した。

ダムを管理運営する電源開発は、7.4 豪雨災害時「瀬戸石ダムによる水位上昇はなかった」とし、国交省もそれを追認しています。しかし住民側の調査では、もし瀬戸石ダムが無かったとしたら、ダムの上流では水位が最大約 6.8m 下がることが明らかになっています。つまり逆に言えば、ダムがあったために7m近くも水位が上昇したことになります。

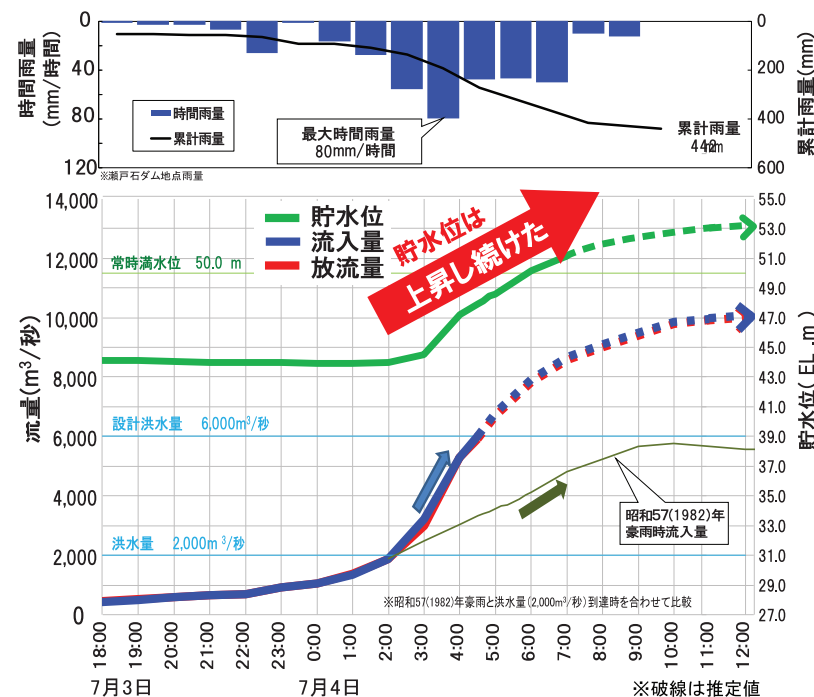
ダムが流域住民の安全安心な生活を害する存在であることを覆い隠し、瀬戸石ダムを存続させ、川辺川に予定している新たなダム建設の障害にならないようにするための、電源開発と国交省のウソです。

瀬戸石ダム断面イメージ



瀬戸石ダムがあることで、ゲートを開放しても本来の川より10m以上河床が上がっている

瀬戸石ダムの7月3日～4日
時間雨量と累計雨量（上グラフ）と放流操作（下グラフ）



実際には、ゲート全開後も水位は上昇していたことが電源開発公表の水位データからも明らかに

電源開発の資料を元に作成

ウソ

豪雨災害時、瀬戸石ダムはゲートをすべて開放し、自然河川に近い状態だった。



ホント

ゲートを開放しても流れが
阻害され、下流の被害を拡大。

「7.4 豪雨災害時、瀬戸石ダムはゲートをすべて開放し、自然河川に近い状態になった」と電源開発は主張しています。

しかし、そもそもダムができる前に比べて川幅は6割以下になっているため、どんなにゲートを開けたからと言っても、ダムのない頃の自然河川に近くなったとは到底言えません。しかも、狭められた川の中でダムの構造物自体が川の流れを阻害し、その割合は約3分の2とも言われています。このことにより水の流れがさえぎられ、ダム湖には大量の水が溜まり、ゲートからはその圧力で極めて強い勢いで水が放流され、下流の建造物などを跡形もなく流し去りました。



ダム下流側の被害

ダム上流側の被害

下流側ではすさまじい勢いで水が流れ、壊滅的被害が発生。上流側では徐々に水位が上がり、土砂が水平に堆積した

ウソ

瀬戸石ダムは黒字である。



知ることからはじめよう

ホント

売電収入に対して、堆積土砂の
撤去費用だけでも大赤字

電源開発は、瀬戸石ダム単体で見ると黒字であると主張しています。しかし、瀬戸石ダムの売電収入は、推定年間1億2000万円。瀬戸石ダムに関係する支出のうち、電源開発が毎年行っているダム湖にたまった土砂撤去費用は最低でも約3億円に上るとみられ、ダムの収支は完全な赤字と推測されます。

黒字と主張する理由は、ダム単体では黒字であると見せかけ、株主などのステークホルダーにダムの撤去を求めさせないようにするため。収支に厳しい民間企業がこのような赤字のダムをなぜ存続させるのか、その理由は不明です。



瀬戸石ダムは、国の検査で土砂堆積による危険性が指摘されてきた全国有数の「堆砂量が多い」ダム



国や県、電源開発、それをそのまま掲載するメディア報道には、事実と異なる情報も混ざっています。ぜひ「本当のこと」を知って下さい。そして球磨川流域の川とともにある未来を、私たちといっしょに考えてみませんか。

子守唄の里・五木を育む
清流川辺川を守る県民の会

〒860-0073
熊本市西区島崎4-5-13
TEL:090-2505-3880
<https://kawabegawa.jp/>
Email: info@kawabegawa.jp

瀬戸石ダムを撤去する会

〒866-0831熊本県八代市萩原町1-2-7
喫茶店「ミック」気付
TEL:080-3999-9928
Email: info-setoishi@kawabegawa.jp